



2018年12月期 通期決算発表

2019年2月12日

日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役社長兼CEO

サラ L. カサノバ

2018年結果

既存店売上高前年対比

+ 6.9%

既存店客数前年対比

+ 4.1%

1店舗当たりの平均月商

**約1,500万円
上場来最高**

店舗改装

**401店舗
92%モダン化**

店舗数

**10年振りに
純増**

既存店売上 前年対比増

**38カ月連続
13四半期連続**

2018年業績 2019年業績予想 ハイライト

	2018年実績		2019年見通し	
	増減対前年		増減対前年	
全店売上高	+340億円	5,242億円	+267億円	5,510億円
全店売上高前年対比	-	+6.9%	-	+5.1%
既存店売上高前年対比	-	+6.9%	-	+4.8%
売上高	+186億円	2,722億円	+102億円	2,825億円
営業利益	+61億円	250億円	+25億円	276億円
経常利益	+59億円	256億円	+14億円	271億円
当期純利益	△20億円	219億円	△45億円	174億円

当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

2018年～2020年の取り組み

目標: 全店売上高 年平均5%以上成長

営業利益/経常利益 年平均10%以上成長

ROE 10%以上



持続的成長

成長のための3本の柱

コアビジネス

メニュー

バリュー

ファミリー
/ブランド



成長を加速

- ・デリバリー
- ・デジタル
- ・未来型店舗体験



店舗展開

- ・新規出店
- ・リビルド

基盤

最高の店舗体験 : 利便性、QSC&V

ピープル : 採用、トレーニング、繋がり強化

ブランドトラスト : 安全、環境、社会とのつながり、ガバナンス

バリュー

バリューの強化

マック史上 最高リッチな味と香り。 生まれ変わったコーヒー ホット ☉ ¥100

おてごろマック

マロホ	Sボテ	アップルパイ
チキチー	ツイスト	ココア
エッグ	ジャカチキ	Sドリンク
	CHICKEN	ココア

¥200 セット ¥500 ¥150 ¥100

セット ¥550

コンビ ¥400

朝マック プラス ¥100 でバティが倍に 毎日 17:00 ~

ビッグマック	ダブルチーズバーガー	てりやきマックバーガー	フィレオフィッシュ	ワッシュ クラブハウス
¥690	¥620	¥620	¥620	¥790
ベークンエッグマックス	エッグマックマフィン	ダブルチーズバーガー	フィレオフィッシュ	ワッシュ クラブハウス
¥650	¥650	¥650	¥690	¥690

ベークンエッグマックス ¥250
エッグマックマフィン ¥250

未来型店舗体験

QSRのサービスへの 新たな挑戦



店舗展開

新規出店と 既存店投資

新規出店



未来型店舗への投資



リビルド 前



リビルド 後





2018年12月期 通期決算発表

2019年2月12日

日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役副社長兼COO

下平 篤雄

ビジネス基盤の強化

最高の店舗体験



ピープル

クルー満足度

84%

まだまだです。

マクドナルドでは常に2割、年間14万人のクルーに、働く環境についての調査を行っています。いま、クルーの満足度は84%、まだまだです。クルーが笑顔で働けるように、これからも改善を続けます。

すべてが、お客様のスマイルにつながるから。



ブランドトラスト

**100%
無添加
ビーフ**

添加物を一切使わずに作っているのは、私です。ビーフのおいしさを引き出すために、多くご賞味いただいているハンバーグで調査を行っています。

※お手持の調査票にも掲載することで、つなぐも調査強化いたします。100%ビーフを実現していきます。

中村 洋介
マクドナルド 日本 支社

すべてが、お客様のスマイルにつながるから。

お客様の店舗体験の向上

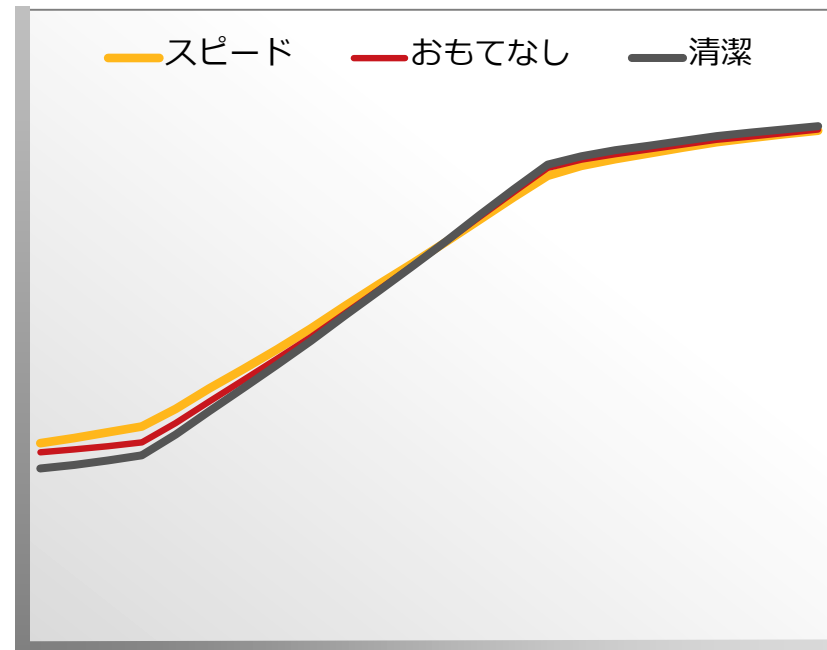
クルー在籍人数推移



2017年6月 2017年12月 2018年6月 2018年12月

1店舗当たり,12カ月移動平均

KODO 顧客満足度



2017年6月 2017年12月 2018年6月 2018年12月

12カ月移動平均 **10**

ピープル

スタッフィング



未経験だけど働いてみたい。
育児と仕事を両立させたい。
まだまだ現役でがんばりたい。
もっともっと成長したい。

やりましたこと、今はじめよう。

アルバイト・パート募集中

トレーニング



エンゲージメント



QSC : Quality Service Cleanliness

スピード



クレンリネス



サービス



未来型店舗体験

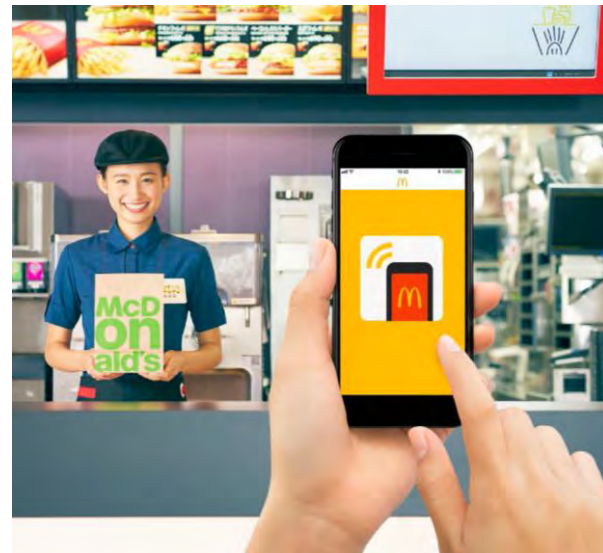
ゲストエクスペリエンス
リーダー



テーブルデリバリー



モバイルオーダー





2018年12月期 通期決算発表

2019年2月12日

日本マクドナルド株式会社
執行役員 IR統括責任者

中澤 啓二

2018年通期 業績概要

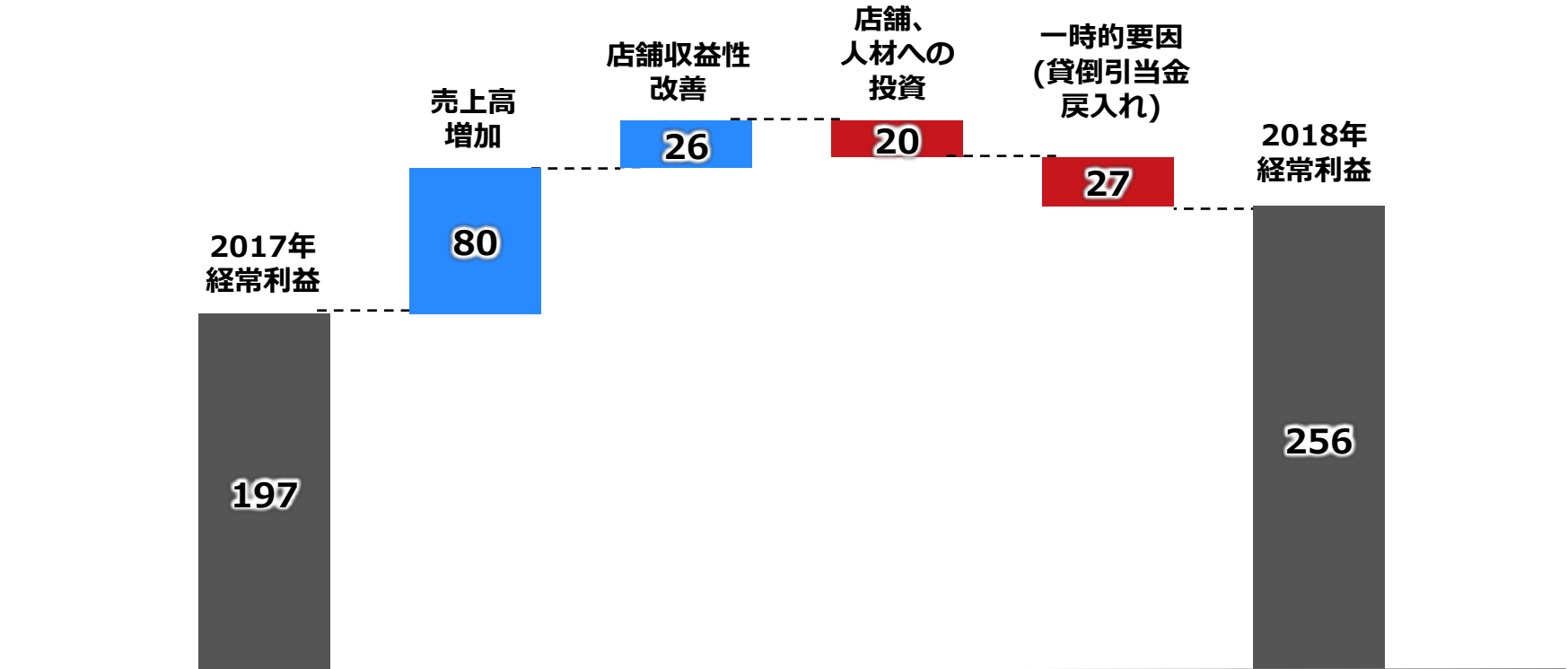
(億円)

	2017 通期	増減 前年比	2018 通期	2018
				通期 見通し (11月公表)
全店売上高	4,901	+340 +6.9%	5,242	5,210
既存店売上高対前年比	+12.2%	-	+6.9%	+6.3%
売上高	2,536	+186 +7.3%	2,722	2,700
売上総利益	455	+76 +16.8%	531	
(売上総利益率)	(18.0%)	(+1.5%)	(19.5%)	
販売費及び一般管理費	266	+15 +5.8%	281	
(対売上高比)	(10.5%)	(△0.2%)	(10.3%)	
営業利益	189	+61 +32.4%	250	235
(営業利益率)	(7.5%)	(+1.7%)	(9.2%)	(8.7%)
経常利益	197	+59 +30.1%	256	240
(経常利益率)	(7.8%)	(+1.6%)	(9.4%)	(8.9%)
当期純利益	240	△ 20 △8.7%	219	210
(当期純利益率)	(9.5%)	(△1.4%)	(8.1%)	(7.8%)

当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

2018年通期 経常利益 改善要因分析（対前年比）

(億円)



2019年通期 業績見通し

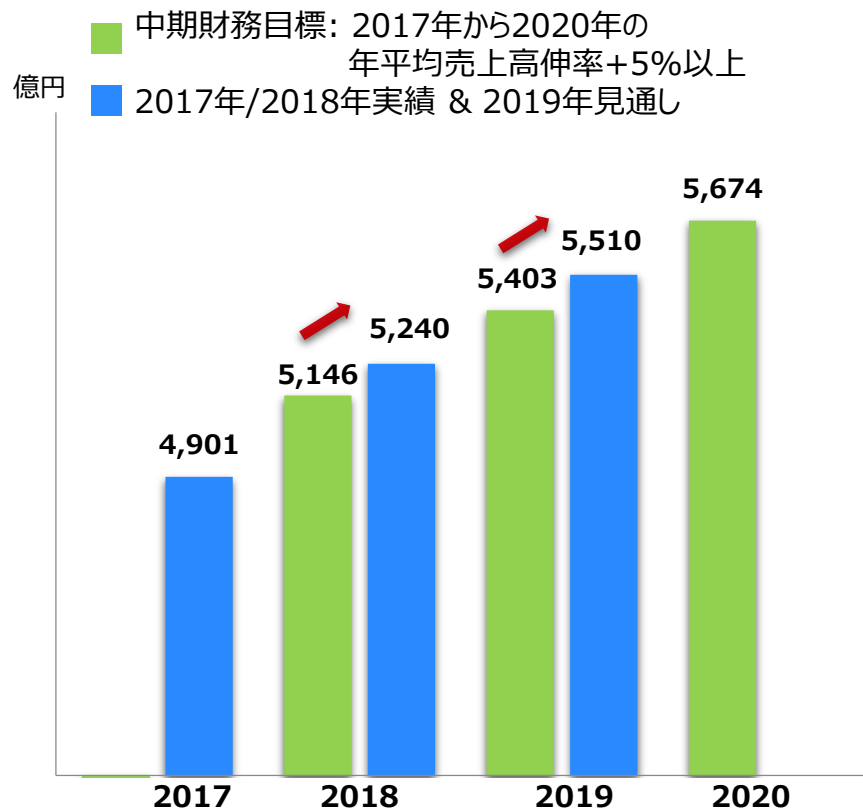
(億円)

	2018 通期	増減 前年比	2019 通期
	全店売上高	5,242	+267 +5.1%
既存店売上高対前年比	+6.9%	-	+4.8%
売上高	2,722	+102 +3.8%	2,825
営業利益	250	+25 +10.2%	276
(営業利益率)	(9.2%)	(+0.6%)	(9.8%)
経常利益	256	+14 +5.7%	271
(経常利益率)	(9.4%)	(+0.2%)	(9.6%)
当期純利益	219	△ 45 △20.7%	174
(当期純利益率)	(8.1%)	(△1.9%)	(6.2%)

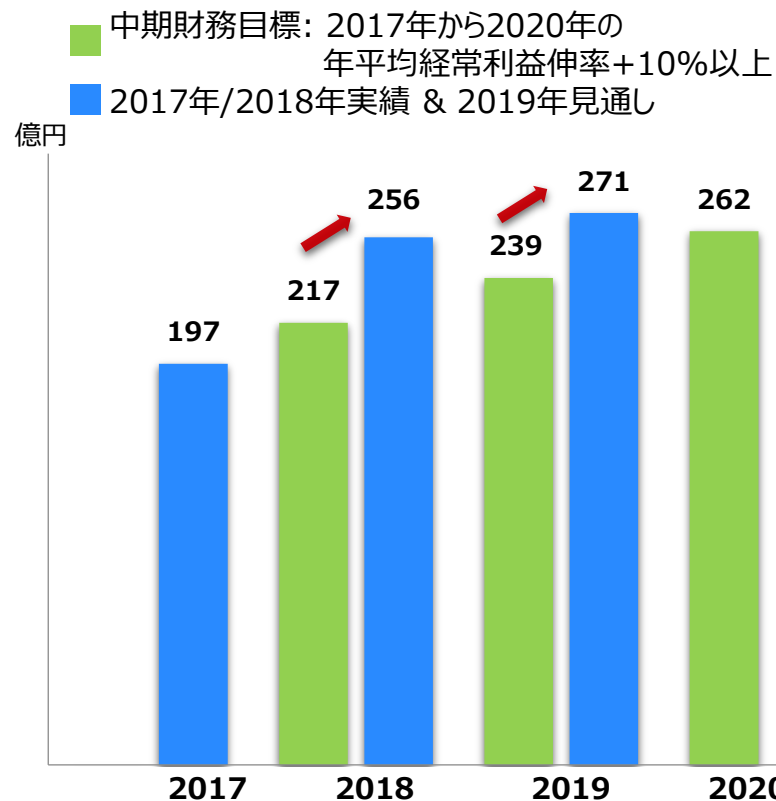
当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

中期財務目標 進捗状況

全店売上高



経常利益



a better McDonald's